

SIMPSON[®]

Hybrid

PRO

**PRO
RAGE**

Sport

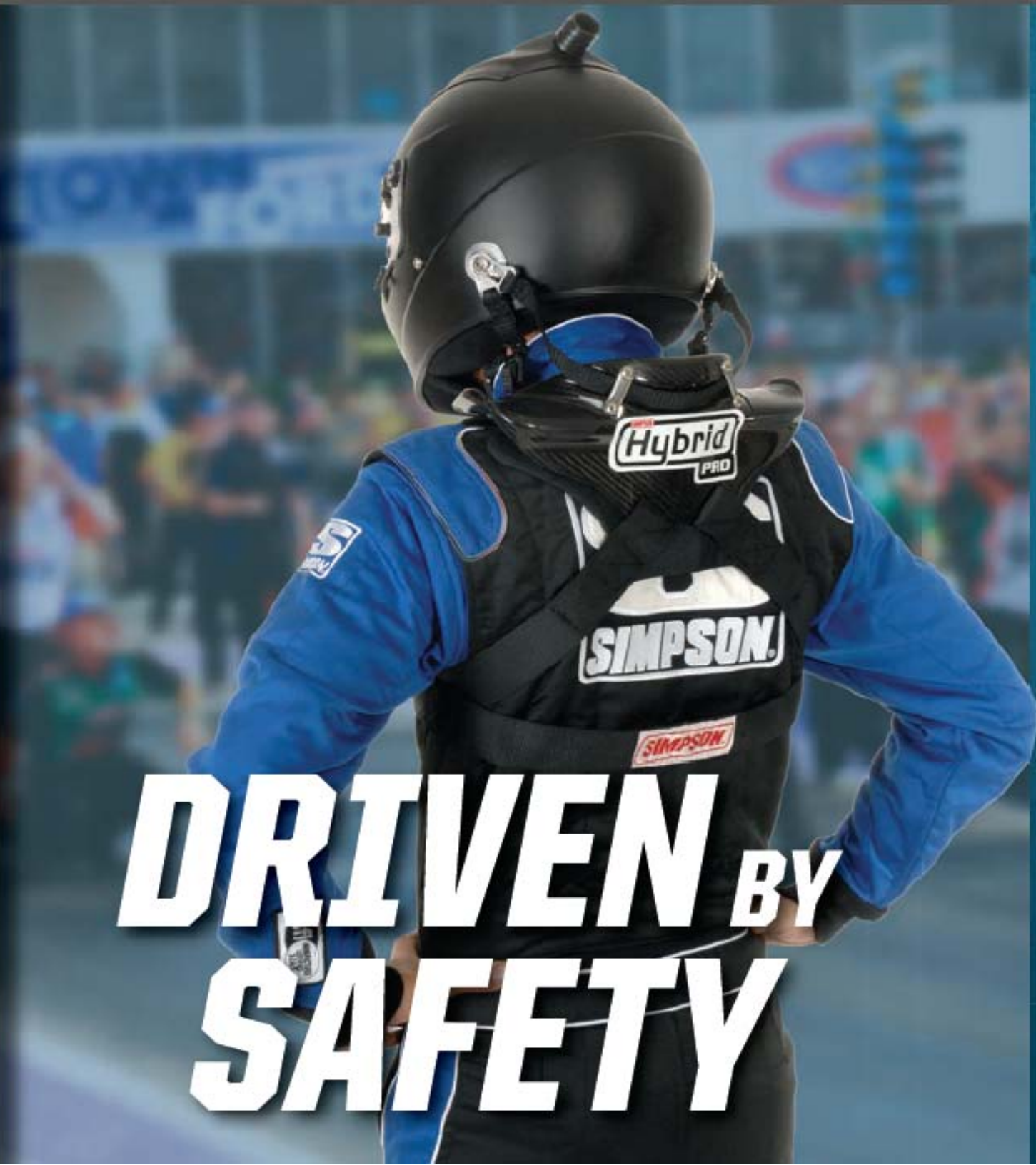
SFI-38.1
CERTIFIED

NASCAR
APPROVED

FIA APPROVED

**DRIVEN BY
SAFETY**

INSTALLATION MANUAL



世界のトップドライバーたちを守ってきた技術をあなたに。

内容

概要	2
アンカーの取り付け	3
ポストアンカー	4
M6 クイックリリースアンカー	4
デバイスのフィッティング	5
シートの調整	5
車内での調整	6
テザーの調整	6
サイド安全ガセット (SSG) の調整	7
セーフティギアの位置関係	7
別売りアクセサリ	8
シートベルトアンカーシステム (SAS)	8
カムロック式シートベルトの場合	8
ラッチ&リンク式シートベルトの場合	9
別売りハイブリッドパッド (価格、送料、納期などお問い合わせください)	9
別売りヘルメットテザー (価格、送料、納期などお問い合わせ下さい)	10
別売りヘルメットアンカー (価格、送料、納期などお問い合わせ下さい)	10
よくある質問	11
免責条項	12
認証	13
SFI	13
FIA	13

概要

SIMPSON ブランドの安全性

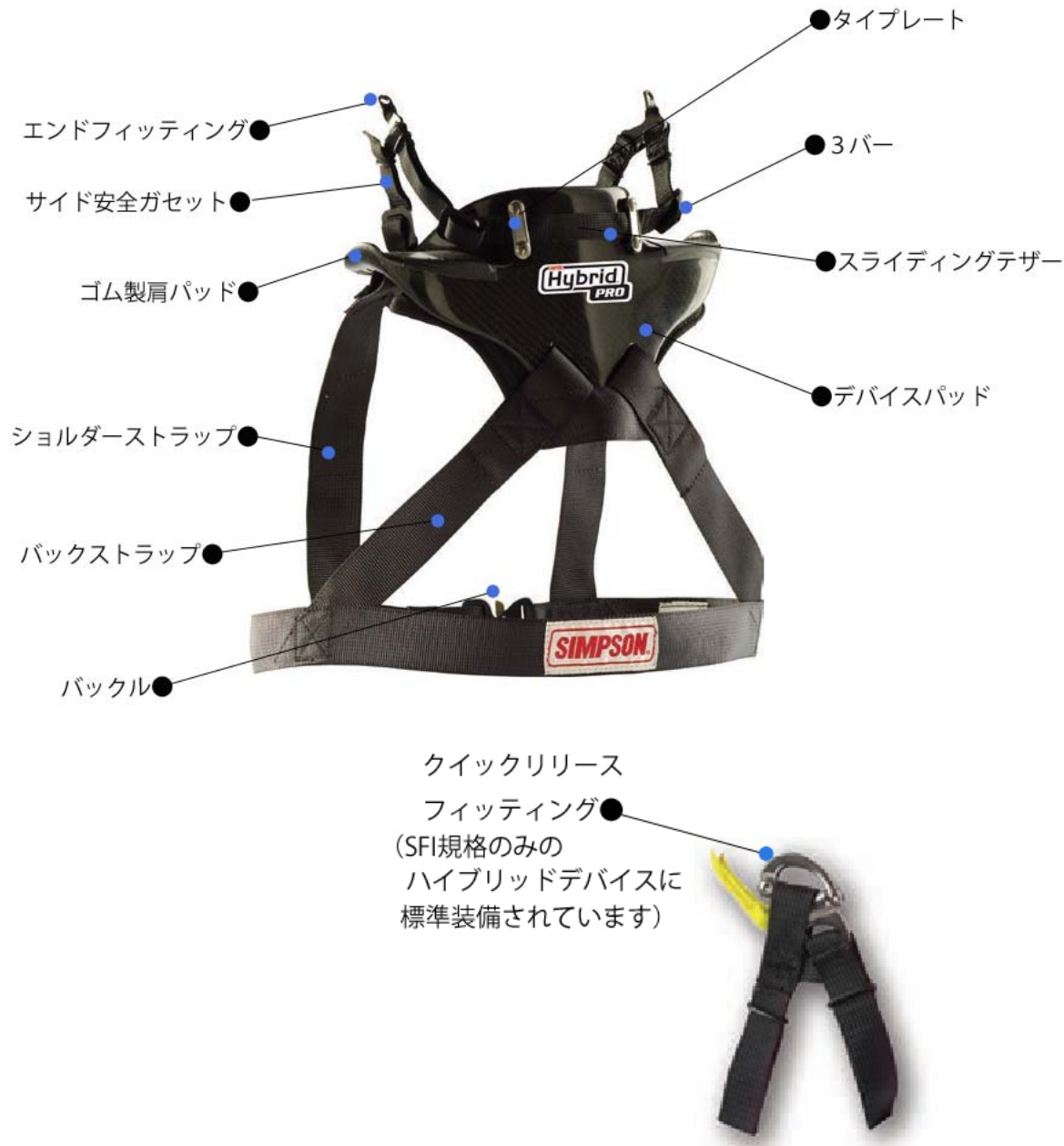
SIMPSON ハイブリッドデバイスはあなたの首と頭を守るレース用セーフティギアとして一番安全な選択肢です。

ハイブリッド、ハイブリッド・プロ・ライト、ハイブリッド・スポーツなど、SIMPSON ハイブリッドシリーズは SFI 38.1 と FIA 8858-2010 に公認されています。他のギアに邪魔されずに簡単に車から脱出できるように小さなデザインにも関わらず、さまざまな角度からの衝撃に対応できるよう他のどんな安全デバイスよりも工夫されています。SIMPSON ハイブリッドは高い快適性と機動性を併せ持ち、まさにナンバーワンの安全デバイスと言えます。トレバー・アシュリンが最新の安全技術を駆使して開発した SIMPSON のハイブリッドはあなたの安全を効率的かつ効果的に守ります。

ハイブリッドデバイス説明

SIMPSON のハイブリッドシリーズは全て SFI 38.1 規格。ハイブリッドとハイブリッド・プロは NASCAR 規格も保持。そして、ハイブリッド・ハイブリッド・プロ・ライトとハイブリッド・スポーツはさらに FIA にも公認されています。SIMPSON ハイブリッドは世界中ほぼ全てのメジャーなレース団体、組織にも広く知られています。ハイブリッドをレースで使用したい場合は、ぜひ出場レースの統括団体にお問い合わせください。

図1



アンカーの取り付け

ハイブリッドを使用するためには専用アンカーをヘルメットに取り付ける必要があります。ここではアンカーをヘルメットに取り付けるための方法を説明します。

シェルの穴あけ

- ① マスキングテープをヘルメットの下側、ゴム縁上側のだいたい1インチ（26mm）上ぐらいのところにゴム縁と平行に貼ってください。（図2参照）
- ② ①で貼ったマスキングテープの上に印をつけます。印をつける箇所はヘルメットを真後ろから見てだいたい真ん中あたり。ゴム縁より1.5インチ（43mm）上方に丸印をいれ、その丸印から0.5インチ（13mm）間隔をあけて左右にそれぞれ一つずつ丸印をいれます。これで丸印は合計3つになったはずですが、さらにその3つの丸印を直線でまっすぐ結びます。（図3参照）
- ③ メジャーテープ（曲線に沿うもの）を使い、図4のようにヘルメットのシールドストッパーから②で3つの印を結んだ線までの長さを測り（線上ならどこでもいいです）、そこに適当な印をつけます。このときシールドストッパーと付けた印の長さを覚えておいてください。同じように反対側のシールドストッパーから線上までメジャーを伸ばし、先ほど測った長さと同じ長さになる線上に印をつけます。今付けた2つの印のちょうど真ん中がヘルメットの真ん中になります。そこにわかりやすい印をつけます。
- ④ ③でつけた真ん中の印から左右へそれぞれ6インチ（150mm）、ゴム縁上から1.5インチ（43mm）上へ印をつけます。（図5参照）
- ⑤ ④で付けた印に1/4インチ（6mm）ドリルでゆっくりと穴を開けます。あまり深く開けすぎないように注意してください。ヘルメットのシェルには穴を開けますが、内側の柔らかいパッドまで穴を開けないように注意してください。シェルと柔らかいパッドの間に薄い金属シートなどを入れて押さえながらゆっくり穴を開けると柔らかいパッドに穴を開けずに済みます。（図6参照）
- ⑥ 開けた穴をきれいにしてください。



図 2



図 3



図 4



図 5



図 6

ポストアンカー

ゆっくりとヘルメット内側のライナーを先の尖っていない器具を使ってシェルからとり外してください。（図7参照）取り外したらレンチを使ってナットワッシャーをヘルメットの内側から開けた穴に合わせて当てます。そして穴にポストアンカーを合わせて置きスクリューを上から締めます。アンカーキャップの小さく突き出ている部分がヘルメットの後ろ側へ向くまで締めてください。7/16 インチ（11mm）レンチを使って外側からポストアンカーを押さえ、ヘルメット内側のナットワッシャーを締めます（図8参照）



図 7



図 8

しっかりと緩みのないように締めてください。アンカーキャップの突き出た箇所がヘルメット後方を向いているのが正しい位置です。

M6 クイックリリースアンカー

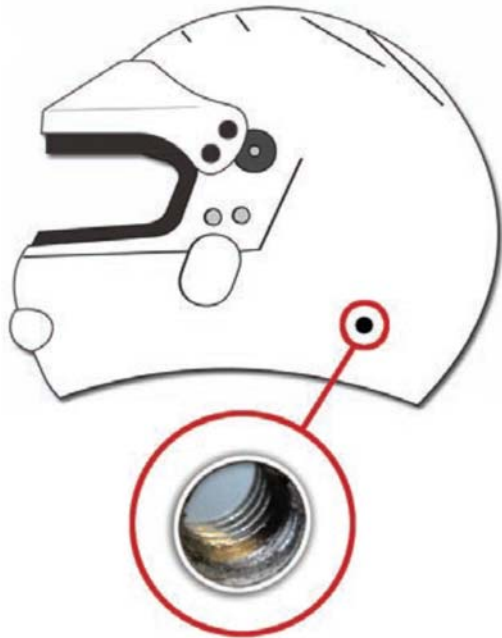
ゆっくりとヘルメット内側のライナーを先の尖っていない器具を使ってシェルからとり外してください。（図7参照）取り外したらレンチを使ってナットワッシャーをヘルメットの内側から開けた穴に合わせて当てます。M6 アンカーは紐が付いているピン側が左右それぞれヘルメットの後方になければいけません。アンカーは SIMPSON の文字が上部に真っ直ぐに見える角度に取り付けます。ネジを手で締められるところまで締め、あとは六角レンチで締めます。付属のベルクロ布片をヘルメットのチン部分に貼り付け、M6 アンカーの紐先が邪魔にならないようベルクロ布片に繫げます。（p.15 に写真有）

SAH2010 ヘルメットの場合

Snell SAH2010 規格をクリアしたヘルメットはハイブリッドなどのヘッド&ネックセーフティデバイス使用前提で作られています。Snell SAH2010 規格のヘルメットには下のようなステッカーがヘルメットの内側に貼られているはずですが。



図 9



このようなヘルメットには、デバイスのアンカーが取り付けやすいようにすでにナットワッシャーがヘルメットに取り付けられている場合がほとんどです。(図9参照) その場合、単純に最初から設置されているワッシャーにアンカーをネジで留めるだけでアンカーの設置は完了します。

ポストアンカーの場合、アンカーの突き出している部分が、また、クイックリリースアンカーの場合、留め金がヘルメット後方に来るように調整してネジをしっかりと締めてください。

SIMPSON ではアンカーを取り付けるときにネジ緩み止め接着剤の使用を勧めています。

アンカーの取り付けは事前に参加するレースの運営にルールを確認のうえルールに従って行ってください。

デバイスのフィッティング

胸部ストラップの調整：胸部ストラップをバックルのところで緩め、バックルをスライドさせて苦しくない程度に胸にピッタリと調整してください。

シートの調整

図 10 ストレート



バックシートの角度が0度~10度

スプリントカー、Pro Mods、プロストック、トップスポーツマン、モンスタートラックなど

図 11 コンチュアード



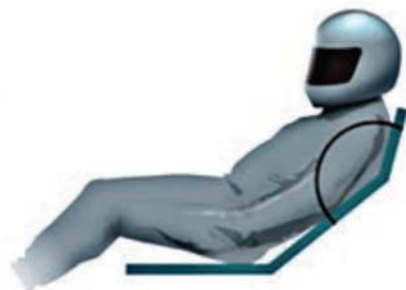
バックシートの角度が10度~30度

レイトモデル、GT-1、プロトラック、ボートなど

図 12 レイバック

バックシートの角度が 30 度以上

インディカーやノスタルジアドラックスターなど



シートの角度によってテザーの調整が変わってくる場合がございます。

車内での調整

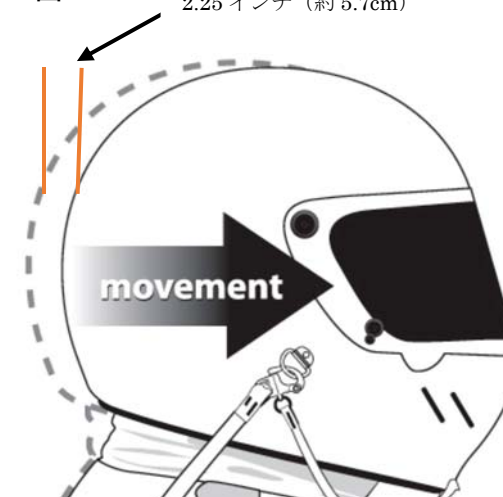
ハイブリッドを使用するのレース参加の前に車内でのテザーの調整を**必ず**行ってください。

車内でのテザーの調整は、ドライバーがスーツ、ヘルメットなどレースに臨むウェアをすべて着用の上でシートに座り、シートベルト、ハーネスを着けた上で行ってください。テザーの調整には誰かの助けが必要です。1人で調整しないでください。

テザーの調整

- ① 車内でシートベルト、ハーネスなどを着けたときにハイブリッドの位置はショルダーハーネスの下になります。
- ② ハイブリッドとヘルメットをテザーで繋ぐ前にシートに座り、シートベルトとハーネスを締めます。ハイブリッドの肩部分がちょうどショルダーハーネスの下になるようにしてください。
- ③ ハイブリッドのテザーをヘルメットに繋げます。普通に座っている状態から頭だけを前に突き出し、どんなに引っ張っても頭が前方に 2.25 インチ (約 5.7cm) 以上動かないようにテザーの長さを調節します。(図 13 参照)

図 13 2.25 インチ (約 5.7cm)



- ④ まず、後ろ側のテザーを調整します。後ろ側のテザーが主要なテザーになります。テザーの長さは 3 バー (図 1 参照) を緩めることによって簡単に調整できます。
- ⑤ テザーの長さの調整は、実際にドライバーが頭を前方に動かして動かせる距離を測りながら調整してください。顎を上げながら動かすと頭だけ上手に前方に動かすことができます。この調整は必ず人に手伝ってもらい、長さを確認しながら調整してください。
- ⑥ このテザーの調整は、ドライバーの頭が引っ張られたときに必要以上に首が伸びないようにするためのものです。

- ⑦ 後ろ側のテザーの調整が終わったらテザーがしっかりと調整した位置で固定されているか確認します。3バーの締め具合を確認し、簡単に緩むことがないようにします。またテザーがタイププレートに通っているかを確認してください。余ったテザー紐はゴムOリングに通して邪魔にならないようにします。

サイド安全ガセット (SSG) の調整

- ⑧ 先ほど調整したテザーをヘルメットから離します。
- ⑨ サイド安全ガセット (テザーの短い方の紐) をアンカーに近づけます。
- ⑩ ドライバーがシートに座って真っ直ぐ前を見た体勢でSSGの長さを調整します。SSGの長さ調整は個人の好みによって異なります。短ければ短いほど (最短約2.5cm) 首、頭の左右への動きが制限されます。あまりに短すぎると頭が下に引っ張られる感じがするかもしれません。
- ⑪ SSGと後ろ側のテザーの長さが調整されたら、横からみると三角形の形になります。(図14参照)

図14



セーフティギアの位置関係

ショルダーハーネスはできる限り体にぴったりと沿うように着用してください。ショルダーハーネスを背中の中で交差させないで車体に留める場合、肩口を通り過ぎたところでハーネス同士の間隔が2~3インチ (5cm~7.6cm) ほどあることをお勧めします。(図17参照)

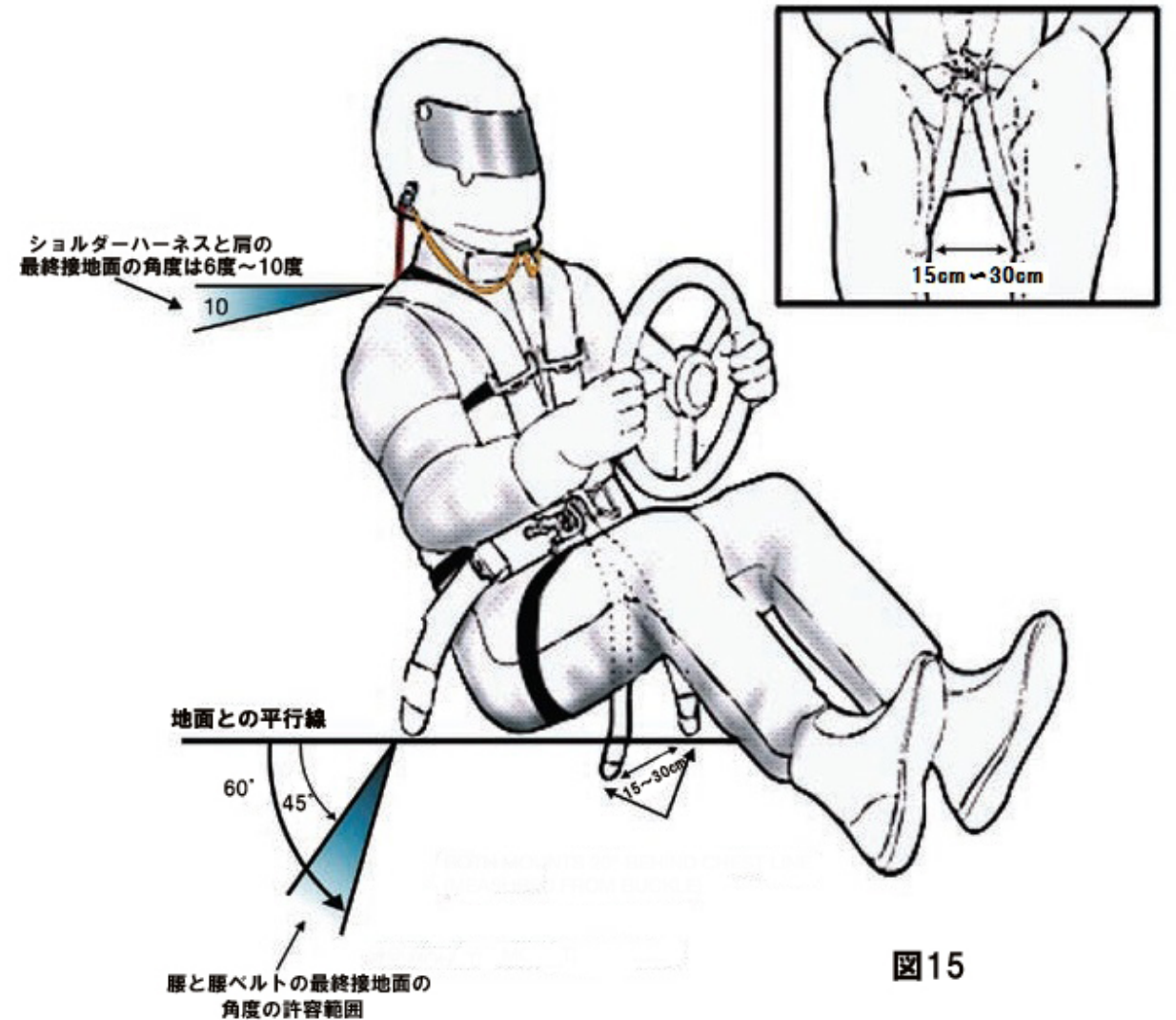


図15

ショルダーハーネスが 後ろで交差する場合

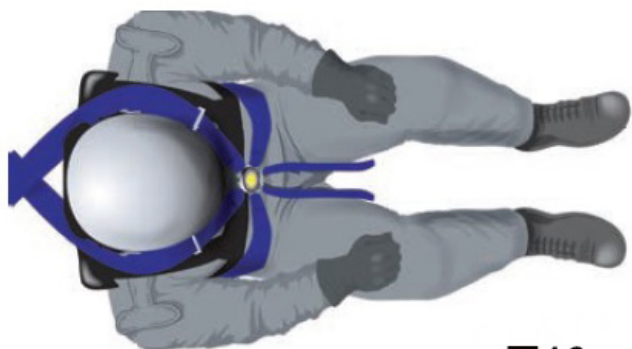


図16

ショルダーハーネスが 後ろで交差しない場合

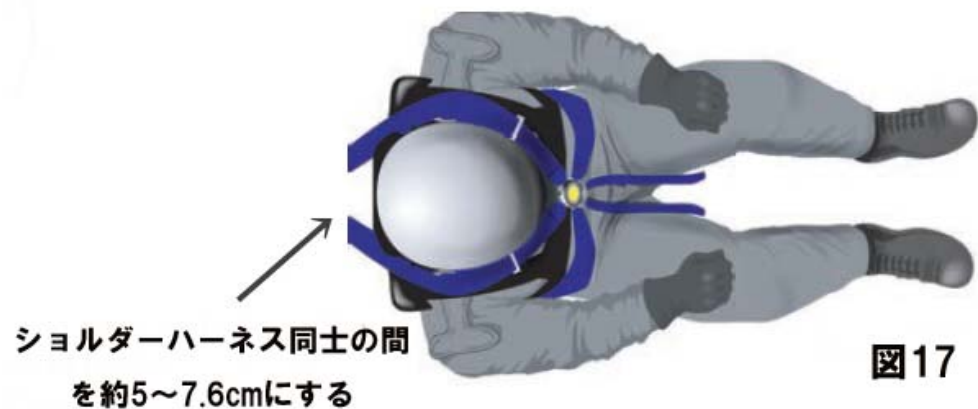


図17

別売りアクセサリ

シートベルトアンカーシステム (SAS)

シートベルトアンカーシステム (SAS) はハイブリッドデバイスの位置を固定するのに便利な別売りオプションです。座席シートベルトのバックルに取り付けてつかいます。

SASのストラップの長さはシートベルトと連結したとき、指2本以上の隙間が体との間にあかないようにしっかり締めて調節してください。

カムロック式シートベルトの場合

ショルダーハーネス、または腰ベルトの連結部分に SAS の O-リング (フープ部分) を引っ掛けてからバックルに差し込みます。(図18参照)



図18



ラッチ&リンク式シートベルトの場合

ショルダーハーネス、または股下ベルトの連結部分に SAS の O-リング（フープ部分）を引っ掛けてからバックルに差し込みます。（図 19 参照）



図 19

別売りハイブリッドパッド（価格、送料、納期などお問い合わせください）

別売りハイブリッドパッドは背中とバックシートの上に挟み、ハイブリッド着用による座り心地の違和感を緩和するオプションアイテムです。自分の好きなようにパッドをカットして座席にあわせる事が可能です。

パッドのちょうど凹んで穴があいているところにハイブリッドがすっぽり収まるようにできており、パッドを使うことによってドライバーがシートに座っている間の背中や首にかかる負担や違和感を和らげることが可能です。（図 20 参照）

図 20



別売りヘルメットテザー（価格、送料、納期などお問い合わせ下さい）



クイックリリーステザー（SFI規格のみのハイブリッド製品に標準装備されています。）

M61 デュアルエンドフィッティングテザー（M6アンカー用テザー）



ポストクリップ（SIMPSON ポストアンカー用。HANS アンカーと併用可）

別売りヘルメットアンカー（価格、送料、納期などお問い合わせ下さい）

M6 アンカー（FIA 公認）



ポストアンカー（FIA 公認）



クイッククリックシステムアンカー（SFI規格のみのハイブリッド製品に標準装備）



よくある質問

Q：ヘルメットにすでにアンカー取り付け用の穴が開いているのですが、そこにそのままアンカーを取り付けても大丈夫ですか？

A：シンプソンヘルメットである場合はそのまま取り付けていただいて問題ありません。シンプソン以外のヘルメットの場合、メーカーにお問い合わせいただき開いている穴の位置を確認してください。

Q：ハイブリッドを使用する場合、専用シートベルトが必要ですか？

A：必要ありません。ラッチ式、またはカムロック式の、ベルト幅が約 5cm~7.6cm のシートベルトをご使用いただけます。

Q：衝突などの事故にあった場合、ハイブリッドを買い換える必要がありますか？

A：SIMPSON ハイブリッドは大抵の事故に耐えられるようにできています。ですが、事故の規模が大きい場合ご使用のハイブリッドを SIMPSON に送っていただければ破損状況を検査いたします。本体の買い替えが必要なくてもテザーなどの部品の買い替えをお勧めする場合がございます。

Q：ハイブリッドを着用したときに私の顎が胸に付けられるのは十分にデバイスを調整できていないという証拠でしょうか？

A：いいえ。デバイス調整が上手くできている場合、顎を胸に付ける程度の頭の動きの自由があるはずです。

Q：ヘルメットにアンカーを取り付ける時、内側の作業が難しいです。

A：大き目のマイナスドライバー、または小さなバールを、非常にゆっくりやさしくヘルメットのライナーとシェルの上に滑り込ませてください。ライナーはヘルメットに接着されていないはずで、ライナーとシェルを決して傷つけないよう注意してください。そしてナットワッシャーを穴の位置に入

れてください。決してドリルでライナーまで穴を開けたり傷つけたりしないように注意してください。

Q：ハイブリッドを着用してシートに座ると前方に押し出されるような感覚がします。どうすればいいですか？

A：別売りのハイブリッドパッドが座り心地を改善します。お問い合わせ下さい。

Q：子供がレースを始めるのですが、成長に合わせてデバイスのサイズを大きくしていくべきですか？

A：おそらく必要はないでしょう。お子さんの体の大きさや成長の度合いにもよりますが、お子さんの胸部が約 71cm に達するくらい成長されている場合、一度買ったハイブリッドデバイスである程度の大きさ調整ができるようになっています。

Q：どのくらいの頻度でハイブリッドは買い換えるべきですか？

A：参加されるレース運営団体の規定により異なります。2012 年の SFI の規定では SFI 38.1 をクリアした全てのデバイスは 5 年に 1 度の審査を受けなければなりません。再審査についての詳細は www.teamsimpson.com を参照してください。

免責条項

オートレースは本質的に怪我、事故、死などのリスクを伴う危険なスポーツです。オートレースに参加する SIMPSON 製品の使用者はそのオートレースがはらむ危険性を十分に理解し認めていることを前提とします。Simpson Performance, Inc.の製品は使用者がオートレースをより安全・快適にするためのものですが、完全に安全が保障されるものではないことをご理解下さい。

SIMPSON PERFORMANCE, Inc.の販売する製品はすべて現状の状態での販売となり、いかなる保証、明示的、黙示的、売買目的の商品性、特定目的への適合性などの保証は含まれていません。SIMPSON 製品の品質、性能に対するすべてのリスクは買主、使用者、またはその代理人が負うこととします。

SIMPSON 製品の、損傷、不良に関して、必要なサービスや修理にかかるすべての費用、経費は買主が負担し、製造者、卸業者、小売業者はその責任を一切負いません。

Simpson Performance, Inc.、Norix Projects Corp., およびトレーダーハウス株式会社はいかなる場合であっても SIMPSON 製品の販売、導入、使用、使用不能、または使用の結果に起因する直接的損害、間接的損害、特別損害、付随的損害、派生的損害、懲罰的損害、またはその他の損害（人命および体の損失含む）に対してその責任を一切負いません。

Simpson Performance, Inc.の製品のサイズ、仕様、性能の確認はすべて使用者が責任を負うこととし、使用者は実際に SIMPSON 製品を使用、導入をするときには前もってその製品が使用、導入に適していることを確認することとします。

Simpson Performance, Inc.の製品は 使用する前に毎回必ず使用者がその損傷、欠陥、磨耗などの具合、程度などを確認することとします。製造者の製品使用、修理、交換、改良に関する基準からの逸脱は未必の故意に相当します。

Simpson Performance, Inc.の製品の導入は車両やその他の安全装置、製造品など（以下、その他の製造品）に悪影響を及ぼす可能性があります。適切、不適切に関わらず SIMPSON 製品の使用によって引

き起こされたその他の製造品の故障、損傷、またそれに起因する身体的傷害などいかなる損害に対して Simpson Performance, Inc.、Norix Projects Corp.、およびトレーダーハウス株式会社は一切責任を負いません。

Simpson Performance, Inc.は、製造者によって初期不良（素材、材料、品質の問題）が認められたときに限り、購入から 60 日以内の製品の交換をいたします。この初期不良は、事故、製品の不適切な使用、間違った使用、過度の使用、いかなる改造や細工、乱雑な扱いによって引き起こされた不良を含みません。また、初期不良品によって引き起こされた使用者の損害は、製品の交換費用ですべて清算されることとします。

Simpson Performance, Inc.、Norix Projects Corp., トレーダーハウス株式会社はこのインストラクションマニュアル内の誤字、脱字、略図、写真、説明図、文書の責任を負いません。

この製品を購入することにより使用者は、この免責条項の一部が現在または未来において法的に無効、履行不能とみなされた場合、その他の条項は無効、履行不能条項になんら影響されることなく完全に有効であるものとする事とともに、当該無効、履行不能の条項を当初の意図を達成しうる有効で履行可能な条項に自動的に置き換えるものとする事に同意したとみなされます。

MODEL # _____ SERIAL# _____

認証

SIMPSON PERFORMANCE PRODUCTS は 1959 年の創業以来モータースポーツの分野においてセーフティギア、装備のトップメーカーとして活躍してきました。安全を第一の目的とし、世界中の数多くのレース団体とともにレース用安全製品の研究、開発、テストをし続けていくことによって安全基準を徐々に向上しさらにレース用品の洗練に努めてきました。ハイブリッドデバイスはそのようにして出来上がった SFI と FIA 公認のセーフティデバイスです。

SFI

THE SFI FOUNDATION, INC はオートレース用品の特性と性能の安全基準を打ち出す非営利団体です。SFI はアメリカ合衆国においてファイアスーツや安全ベルトなど高性能安全製品のための安全検査基準を監督する役割を担っています。NASCAR や NHRA は SFI の安全基準に則って統括されている団体です。

更に詳しくは公式ホームページまで。 www.sfifoundation.com

FIA

THE FEDERATION INTERNATIONALE DE L'AUTOMOBILE は 5 大陸 132 カ国の 227 にも及ぶモータースポーツ団体が寄り集まって形成された非営利団体です。FIA F1 世界選手権, FIA 世界ラリー選手権や FIA 世界ツーリングカー選手権などは FIA の安全基準に則って統括されています。

更に詳しくは公式ホームページまで。 www.fia.com

ここに示されている製品はこのインストラクションマニュアルに沿って導入、調整されるものとします。購入者、導入者、使用者がこのインストラクションから逸脱した方法で製品の導入、調整などをした場合、未必の故意とみなされます。不良や損傷、磨耗しきった製品は使用しないで下さい。また、激しい衝撃などを受けた製品は使用はおやめ下さい。

DRIVEN BY SAFETY



SIMPSON®

CALL CUSTOMER SERVICE TOLL FREE 800.654.7223

OR E-MAIL SALES SALES@TEAMSIMPSON.COM

VISIT TEAMSIMPSON.COM